

普及活動情勢報告（令和7年6月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

ナシ産地の維持・発展を目指す ～針木梨組合基盤整備等検討会～



検討会の様子

5月27日、高知市針木地区で、針木梨組合と関係機関（高知市、いの町、中央西農業振興センター）による、ナシ産地の維持・発展に向けた検討会が開催され、組合員6名が参加しました。

検討会では、生産性確保のための基盤整備候補地の明確化、高齢化や農業機械高騰対策のための法人化等について話し合い、普及所は法人化に対する課題や将来像について、組合の意向を聞き取りました。

今後も普及所は、針木梨組合やJA、市、町と連携し、法人化に対する勉強会の開催や、産地と事業担当者の意思疎通の円滑化を支援します。

水稻の生育概況を報告 ～第35回高知市農協稲作部会通常総会～



稲作部会通常総会で報告

6月3日に第35回高知市農協稲作部会通常総会が開催され、53名（生産者30名、関係機関24名）が参加しました。

普及所からは、気象概況、今後の水稻管理や今年度の実証試験、公道での農機による交通事故の要因と対策及び熱中症の予防についてのリーフレットを配付し、説明しました。参加者からは、「今年も平年より暑くなる予報が出ているのか」「農作業も気をつけて行いたい」などの意見が聞かれました。

今後も普及所は、関係機関と連携し、産地の生産力向上に取り組んでいきます。

ラストスパート目前！ JA春野ナス部会現地検討会の開催



検討会の様子

6月10日、高知市春野地区で、JA春野ナス部会の現地検討会が開催され、生産者10名が参加しました。

普及所からは、土着天敵を活用したIPM実証結果を周知したほか、次作に向けた土着天敵確保のための準備や環境測定機器のメンテナンスについて説明しました。生産者からは天敵によりコナジラミ類の発生を抑えられたという声や地域による害虫密度の差について意見がでました。

今後も普及所は、収量、品質向上を目指して、IPM技術や環境制御技術の活用を推進します。

高校生に高知の農業をPR ～春野高校での次世代農業担い手説明会～



I o P の取組を紹介

6月12日、県立春野高校で普及所とJAの担い手担当が農業関係への進学希望者9名を対象に説明会を開催しました。

普及所は高知県農業の概要とI o Pの取組、新規就農者に対する支援制度について説明し、JAから高知市春野地域のキュウリ産地と土佐市のピーマン産地の状況を紹介しました。

参加した生徒からは「将来就農を考えているので学びになった」「I o Pの導入により、農業が始めやすくなっていると感じた」などの感想が聞かれました。

今後も普及所は、関係機関と連携し、若い世代を対象にPR活動を継続していきます。